



山歩きのすすめ

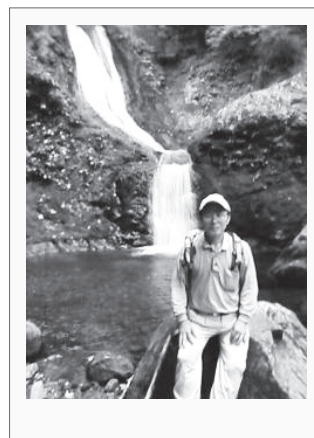
会員 関戸 勉 (29 期)

私は週末暇さえあれば山歩きのをしています。これは、体力をつけるため、自然の美しさを味わうため、また心のリフレッシュのためです。40才のころ事務所で飲酒が続いたせいか体を悪くしたことがあり、体力の向上のため山歩きを始めました。数年は奥多摩や山梨の山をくまなく歩きました。帰りには温泉に立ち寄り、温泉で疲れを癒した後、ビールを飲むのは極楽の気分です。

平成12年ころ、29期同期の尾崎敏一二弁会員が深田久弥の百名山を登破したとの話を聞き、私もやってみようと思いました。そして平成17年9月北海道の幌尻岳を最後に百名山全部登り終えました。どの山も思い出深く、美しい風景に感激し、多くの人との出会いもあり、また、周辺の地方も知ることができました。最も自然が残されていると感じたのは、尾瀬の西に位置する平ガ岳です。昆虫が多かったこと、夕間に蛍が乱舞した光景などは忘れられません。温泉では白馬岳の北側の蓮華温泉です。山中にいくつかの自然に湧き出る露天風呂があり、絶景を眺めながらの入浴は最高です。

百名山を終えた後は、よかった山の再登山をしたり、近くの山に行っております。今年の8月7日は奥多摩の御岳、大岳山に登りました。この時期御岳はレンゲショウマの花が盛りです。下山は海沢方面でしたが、途中有名な三釜の滝があります。写真はこの滝ですが、滝つぼからの風は涼しい限りでした。

ほとんどは一人で出かけます。その日予定が空い



ていて天候がよいときすぐに行くことを決めることができるからです。皆んなで行くこともあります。多摩支部会員には年3、4回案内しております。ハヶ岳の横岳も日帰りしたことがあります。今年の7月には、赤岳(2898m)も橋本幸一会員、岸本努二弁会員と日帰りしましたが、ルートは岩石が多く大変でした。

失敗したこともあります。平成3年8月奥多摩の鴨沢を出発し七ツ石山から鷹巣山に至り日原方面に下山しました。懐中電灯を持参しなかったところ、6時過ぎに林の中が真っ暗となり、道に迷いました。日原の里の明かりが2、3百メートル先のように見え(翌朝歩いたところ約1キロ以上)、沢沿いを木をつかまえながら進んだところ、枯木を手にしたことからそのまま沢底へ約3メートル程転落してしまいました。歩みを止めそこで一晩明かしました。翌朝里に着くと、体操していた小学生らが、体操をやめて私をぎょっと見ました。後で鏡を見ると、顔中傷だらけで血が出ていたことが分かりました。反省すべきは、ルートは初めてで事前によく把握していなかったことと電灯の備えをしなかったことです。山登りの安全のためには物的な備えをすることは大切ですが、私が最も大事なもの考えるのは、山の地理を事前によく把握し、それに従った計画を立てることです。この後は準備をよくし快適な山歩きを楽しんでおります。

皆様にはこのような楽しい山登りをしていただくことを願います。